

令和6年度 府中市立四谷小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第5学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	①物語文において、叙述に即して心情を読み取ること。 ②言葉の意味や使い方を正しく理解すること。	①物語文において、主題を捉える手がかりに着目して読ませることで、登場人物の心情変化を具体的に想像できるようにする。【発見・対話】 ②辞書を活用しながら、熟語や慣用句などの意味を調べる活動を意図的に組み込む。【発見】	C	B
算数	①分数の加減法の習熟を図ること。 ②伴って変わる2量について、変化の規則性を基にして図や式を用いて数学的に表現すること。 ③平面図形を組み合わせた場合の面積を、筋道立てて求めること。	①分数を中心に、基本的な計算技能を高めるようにする。【表現】 ②伴って変わる2量について、変化や特徴を正しくおさえ、筋道立てて考える表現する力を育てる。【発見・表現】 ③面積を求める公式を正しく理解させ、順序立てて考える学習活動を意図的に行うようにする。【決定・表現】	C	B
理科	①問題解決の見通しをもちながら観察・実験を行うこと。 ②観察や実験の結果を、問題や予想などに照らし合わせて考察すること。 ③観察・実験で使用する器具の使い方を理解し、正しく扱うこと。	①単元を貫く学習問題づくりと、何を解決するための活動なのかを毎回意識させる。【決定】 ②問題、予想に立ち返りながら、考察の視点を確認する。【発見・表現・対話】 ③新出の器具や使い方はもちろん、既習の器具や使い方についても毎回確認する。【決定】	B	B
社会	①課題に応じて資料を読み取り、課題解決に活かすこと。 ②調べ学習において、資料の中から必要な箇所を取り出したり、選んだりすること。	①課題に対して、ICT 機器等を活用し資料から適切に情報を読み取れるようにする。【発見・表現】 ②図や写真、グラフなどの資料から分かることを児童同士交流させる。自分の考えの根拠として、適切な資料を見付けることができるようにする。【表現・決定・対話】	B	B
音楽	①曲想に合う歌い方や演奏の仕方を工夫すること。 ②互いの演奏を聞き合ったり、自分たちの演奏を聞いたりしながら、自分達の演奏を分析すること。 ③演奏すること、表現することの楽しさを知ること。	①楽譜に書かれている情報を読みとる学習や、歌詞と音楽との関係性を考える学習を多く取り入れる。曲想を表現するための楽器の奏法や歌唱法を学ばせる。【発見・表現】 ②ICT 機器を活用し、曲想に合わせてどのように演奏したいか、どんな工夫ができるかといった意見交流をしたり、録画した自分たちの演奏を見たり聞いたりし、自分たちの演奏を客観的に聞き、分析できるようにしていく。【決定・対話】 ③演奏する楽しみ、表現する楽しみを味わえるような教材や活動を工夫し、子供たちが笑顔で音楽を楽しめる授業を行う。【発見・表現】	B	B
図画工作	①材料や用具の基本的な扱いを理解し、応用したり発展させたりして活動すること。 ②どの題材においても自ら目標や課題を設定し、主体的に取り組むこと。	①材料や用具の基本的な扱いを理解するとともに、発展的な活用方法を提示したり、鑑賞やグループ活動を通して工夫や応用方法を考えさせたりする。【発見・表現・対話】 ②児童の興味・関心、生活などと題材を関連付け、自ら目標や課題を設定する態度や力を育てる。【決定】	B	B
家庭	①裁縫において、基本的な技能に差があること。 ②調理実習などで、他者との協働する意識に差があること。 ③自分や家庭生活を見つめ、家族の一員としてできることを増やすこと。	①ICT 機器を活用し、ポイントとなる部分を繰り返し例示する。また活動の内容や手順を明確にする。【決定】 ②自主的に役割分担を決定する機会を増やすとともに、学習活動について振り返る時間を設け、自己有用感を高めるようにする。【発見・対話】 ③自分や家庭生活を振り返り、貢献できる機会を見出す学習活動を設けるようにする。【表現】	B	B
体育	①運動の仕方を理解し、基本的な技能を身に付けること。 ②自分に合った運動の課題やめあてをもち、運動方法を正しく選択できること。	①ICT 機器を有効に活用し、自分の体の動きを見えることで、より正確な動きを身に付けられるようにする。【発見・表現】 ②段階的に技能を習得できる場を設け、児童が自分に合った運動を選択できるようにする。【決定・対話】	B	B

令和6年度 府中市立四谷小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

	③毎時間の運動量に個人差があること。	③コーディネーショントレーニング・サーキットトレーニングなどの運動を継続的に行う。【表現】		
外国語	①語彙・発話量の向上し、基本的な英語表現を理解すること。 ②基本的な英語表現を理解し、児童の語彙の量が向上すること。	①発話量を増やすためには、語彙の獲得が重要であり、語彙の獲得のためには、繰り返しの練習が必要であるため、デジタル教材用いて、繰り返し練習できるような教材を準備する。【発見・表現】 ②語彙の練習、復習を同じ流れで毎時間行い定着を図る。授業の初めを復習時間にあて、既習事項と本単元に関係する英語表現を確認する。【対話・表現】	B	B

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。